

# アイメイクの2色使い/Wペンシルの受容性チェック

1 アイブロウ

	高 校 生	大 学 生
おニオ モニター	<p><b>2色使いの眉メイクについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>眉の形を変えることにより必要となるアイテムが変わる</li> <li>うすい眉、カットしてなくなった眉メイクには2アイテムが必要</li> </ul> <p>→いずれも パウダー+ ペンシル</p> <p><b>くり出しタイプの商品について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用経験有→× 芯が折れて使いにくい 先が細く削れない</li> <li>使用経験無→× 芯がやわらかそう、かつリリが つけにくいというイメージあり</li> </ul>	<p><b>2色使いの眉メイクについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在2アイテム使用を実施(パウダー+ペンシル)(2名)</li> <li>ペンシルの1本が太くて、ぼかすことができるのであればOKという意見と、ペンシル=ぼかしにくい、失敗した時、修正しにくいいため1アイテムはブラシがよいという意見に分かれる</li> </ul> <p><b>Wペンシルの可能性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おニオは自分に合う眉メイクスタイルが確立されているためペンシルに当たるもの →2本が1本でOKという位置づけの方が、Wペンシルを受入れやすい その場合の色は、濃茶+グレー</li> </ul>
一般 モニター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初めて使うアイブロウは、ペンシルタイプがよいと思っている ブラシ付きはなおよい</li> </ul>	<p><b>2色使いの眉メイクについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペンシルとパウダーの2アイテム使用の方が、自然な仕上がりという認識がある</li> <li>アイメイクに関心が弱いと、2色使いというところまで意識が及ばない</li> </ul> <p><b>Wペンシルの可能性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、状況により、ペンシルのみで仕上げている簡便指向者には好評</li> <li>一方、反対意見として「ぼかす」ことにこだわると、はげやチップは欠かせない また、2色使いについても別々に好きな色を選ぶという見解がある</li> </ul>

◆ペンシル使いが定着している高校生にとって、くり出しタイプは縁遠いものになっている。むしろ、大学生の方が「タイプ」に対して寛容である

◆大学生では、パウダーとペンシルの2アイテム使用も多く見られる  
アイブロウWペンシルには以下の方向性がある

①太・細の組み合わせ  
→簡便指向に対応する  
→パウダー使いをしていない人への啓蒙

②色違いの組み合わせ  
(1本で2色のコンプレックスタイプ)  
→現ペンシル使用者

	高 校 生	大 学 生
<p>社<sup>○</sup>モーター</p>	<p>アイライナーの2色使いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メイクのカーションの好みによってニーズも変わる ベージュカラーの組み合わせ、又は冒険色に分かれる ex) ブラウンメイク→モントーンカラー(シルバー/グレー/ブラック) カラーメイク → 白+色物(マスカラと合わせる ex. 緑)</li> </ul> <p>アイライナーのタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>黒などのベージュカラーなら、ペンシルでもよいが、コートやシルバー、色物などは、発色がポイントとなるため、リキッドがよいという見解である(2名)</li> </ul> <p>Wペンシルの方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>黒・茶などのベージュカラーでアイブロー、アイライナーに併用できる</li> <li>ベージュカラーと冒険色の組み合わせなら、トライアルしやすい</li> </ul>	<p>アイライナーの2色使いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施者は1名のみ。ペンシル→シャドウ→リキッドで仕上げ</li> </ul> <p>ペンシルタイプの2色使い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施者はメイクスタイルが決まっており、取込みにくい</li> <li>未経験者は関心を示す ex) 同系色の色物の組合せ → オレンジ+イエロー、濃緑+淡緑 ベージュカラー+色物の組合せ→黒/茶+ブルー/シルバー</li> </ul> <p>アイライナーのタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>強く、細く描きたいとのニーズから、ペンシルタイプにフィット感がある くり出しタイプは芯が柔らかい、先が太いという点から使いづらいとしている</li> </ul> <p>Wペンシルの方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイライナー+シャドウの組合せ(タイプバリエーション)</li> <li>コート、シルバーなど、光物同士の組合せ(カラーバリエーション)</li> <li>光物+色物の組合せ(カラーバリエーション)</li> </ul>
<p>一般モーター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くり出しタイプに馴染みがなく、ペンシルタイプがよいとの意見がほとんど</li> </ul> <p>Wペンシルの方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ベージュカラー同士、ベージュカラー+色物の組合せに使用意向あり</li> </ul>	<p>アイライナーの2色使い/ペンシルタイプの2色使いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペンシルタイプ2アイテム実施者(1名)は、太・細のラインの2色使い(黒/えんじ色) → ペンシルタイプの2色使い ex) 黒(濃い色)+水色(薄い色)</li> <li>その他のモーターも関心はあるが、購入に至るには少し距離がある</li> </ul> <p>アイライナーのタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペンシルタイプ(2名)、くり出しタイプ(1名)であり、くり出しタイプユーザーは、Wペンシルに対する関心も高い</li> </ul> <p>Wペンシルの方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイライナーの2色。同系色の色物2色(ex. イエロー+オレンジ)</li> <li>アイライナーとシャドウ } ベージュカラー+パールカラー</li> <li>細いかたい芯+太くやわらかい芯 } ベージュカラー+色物</li> </ul>

◆アイライナーの2色使いには、高校生・大学生とも関心がある  
高校生は白のライナーに関心がある。一方、色物は発色のよいリキッドがよいという声もあるが、実際には使いこなせず、購入にふみきれない可能性もある

◆大学生の方は、どのような組み合わせでもいろいろな楽しみ方ができる土壌がある

想定できる色

- ベージュカラー(黒・茶・白)+色物
- 同系色の濃淡色物2色(ex. イエロー/オレンジ)
- パールカラー+色物

※色味によっては、シャドウ(太柔)、アイライナー(細硬)の組合せがよい

	高 校 生	大 学 生
お <sup>レ</sup> ニオン モニター	<p>クリーム・リキッドの使用経験から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリームタイプは、クレンジングしにくい。指づけのため微妙な調整・重ねぬりができない点がパウダーに劣る</li> <li>・ペンシルタイプも濃淡がつけにくい</li> </ul> <p>実物提示後の関心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外ブランド（エスティ、ケラン）も購入検討範囲に入っている</li> <li>・チップ付きタイプに関心あるが（2名）、重くつきすぎる</li> </ul> <p>色選びのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロメイクのモットー派とカラフル派に分かれる</li> </ul>	<p>クリーム・リキッドの使用経験から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものによっては、リップと兼用できたりする。重たくつくものもあり、関心はあるが“愛用する”には至っていない</li> </ul> <p>実物提示後の関心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パール輝きに関心が高く、購入意欲がわく。シルバー、ホワイト、ゴールドなど、ハイライトカラー兼シャドウに受容性あり（ジャタイプ）</li> <li>※淡い色や肌色なじむ色は、クリームタイプに抵抗感がなくなる</li> <li>・しっとり肌なじみがよく、冬場乾燥対策にもなるという意識がある</li> </ul> <p>次期購入したいカラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒、グレー、白のモード系カラー</li> <li>・ゴールド、シルバーのパーティ系</li> <li>・季節を意識した色として、冬の水色、イエロー/オレンジ</li> <li>流行のパープルのグラデ</li> <li>・パールがきいている明るいパープル系、淡いピンク、淡い黄緑（すべてクリームタイプOK）</li> </ul>
一般 モニター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アイメイクの経験が少ないと、タイプ選択まで意識がおよばない</li> <li>使いやすそう（ジャタイプ）と手が汚れる、うまくつけられなさそう…という憶測の範囲</li> </ul> <p>色選びのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレンドに敏感なヤングは黒人系メイク、一般的なヤングはファッションを意識して選ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あまり冒険を好まず、関心もお<sup>レ</sup>ニオンに比べるとかなり弱くなる</li> <li>まだ所有していない色への補完という視点で色選びを行う</li> <li>タイプもパウダータイプがよいとしており、新しい剤型への取込み意欲が弱い</li> </ul>

◆クリーム・リキッドタイプのアイシャドウに限定してみると、高校生はチップ付のスティックタイプ（マスカラタイプ）、大学生はクリーム&シルキーなジャタイプに関心がある  
またクリームタイプアイシャドウは、お<sup>レ</sup>ニオンユーザーに対し、NEW感が有効である

◆季節的には保湿性を期待するという点からも、秋冬型の商品として適している

◆色味としては、濃色は重ねづけがしにくい、濃淡の調整がしにくい、等の点からはずした方がよい

方向性は以下の通り

- ①ハイライトとして使えるカラー  
ex) ホワイト、淡ピンク、淡イエロー、淡ブルー
- ②アクセントカラー  
ex) ゴールド系、シルバー系（パール強）
- ③肌なじみのよいアイメイクの下地となるカラー  
ex) パステルカラー、オーラル系の濃淡

※アイベアメイクとしてパウダータイプとの重ね使いの提案という方向性もある

※秋冬の季節性を考えると、ハレーションカラーにトレンド性がある